

数論における Julia の援用

Shun'ichi Yokoyama

Tokyo Metropolitan University, Japan

Julia 言語は現在急速に普及しているが、数学分野においては比較的幾何学・解析学の分野においての活用例が多く、代数学の分野においてはまだまだ少ないのが現状である。しかしながら近年では `AbstractAlgebra.jl` などに代表される、非常に汎用性の高いパッケージが充実してきている。本講演では代数系分野における Julia 活用の可能性について触れた後、とくに数論における Julia native の数式処理システム開発プロジェクト `NemoCas` / `OSCAR` について紹介する。